

平成を振り返る

関 秘書広報室 ④ 63・7402

# 名張が歩んだ30年

## 30年間の主な出来事

- 梅が丘小学校開校(元年)
- 百合が丘小学校開校(4年)
- 資源ごみ分別収集開始(4年)
- 看護専門学校完成(6年)
- 夏見廃寺展示館完成(7年)
- 観阿弥ふるさと公園完成(7年)
- 総合福祉センターふれあい完成(8年)
- 市立病院(介護)老人保健施設ゆりの里完成(9年)
- 比奈知ダム完成(10年)
- こども支援センターかがやき完成(14年)
- 財政非常事態宣言を発表(14年)
- 新斎場完成(16年)
- 自治基本条例制定(17年)
- 武道交流館いきいき完成(18年)
- 中央処理区の公共下水道の一部供用開始18年
- 伊賀南部消防組合から名張市消防本部へ19年
- 家庭こみの有料化(20年)
- 二次救急医療輪番制開始(20年)
- やなせ宿完成(20年)
- 伊賀南部グリーンセンター受入開始(20年)
- 防災センター完成(22年)
- 皇學館大学跡地に近畿大学工業高等専門学校が開学(23年)
- 在宅医療支援センター開設(23年)
- とれたて名張交流館オープン(24年)
- 土地開発公社解散(24年)
- 子どもセンター開設(25年)
- 市立病院が災害拠点病院に指定(25年)
- 小児救急医療センター開設(26年)
- 錦生小学校跡地に郷土資料館開館(27年)

## 平成元年の広報なばり

平成元年1月号の広報なばりの表紙は市政施行35周年を記念した名張幼稚園の児童による人文字でした。



## 変化していくまちの景色

名張駅から百合が丘の間に架かる沖津藻大橋が平成3年に開通。平成4年に名張駅の東口駅舎と東西連絡線が完成。国道368号上野名張バイパスは12年に開通。希中央という地名は20年に誕生しました。



市役所屋上から撮影した鴻之台・希中央の写真的比較



国道368号上野名張バイパス開通式



沖津藻大橋

## 立ち止まって

私は、時には立ち止まって自分の身の周りのことや景色に目を向けるように心がけています。

一年前の夏、仕事で忙しくしていた私に、上司から「洋上研修に参加してみないか？」と提案がありました。

洋上研修とは、希望する社会人を対象に、香港へ向かう船の中で一週間過ごしながら、さまざまな研修を行うというものです。

これまで面識のなかった約400人のさまざまな業種の人たちと行動を共にすることで、コミュニケーション能力の向上だけでなくリーダーシップや協調性を養うことができ

ます。一週間家を空けるため、家族に迷惑をかけることになってしまったなと思いましたが、この研修への参加は自分が成長するチャンスだと感じた私は、妻と子どもを説得し、参加することにしました。

乗船した私はすぐに他の乗船者たちと打ち解けることができました。しかし、一週間という時間は長く、ときにけんかしたり、抱き合って喜んだり、さまざまなことがありました。

言い争いになってしまったことも原因をたどれば小さなことでし

## ひまわり No. 465



～人権尊重をくらしのなかに～  
ご意見は人権・男女共同参画推進室(TEL 63・7909)へ



た。みんな慣れない環境で知らない人と過ごすことで、少なからずストレスを感じていました。そんな中で相手の気持ちを考える余裕がなかったのだと思います。しかし、下船した私は心からこの研修に参加して良かったと思

ました。どんな状況でも相手の立場になって考え行動することの大切さに改めて気付くことができました。

また、船の中という、非日常的で隔離された空間に身を置くことで、普段の

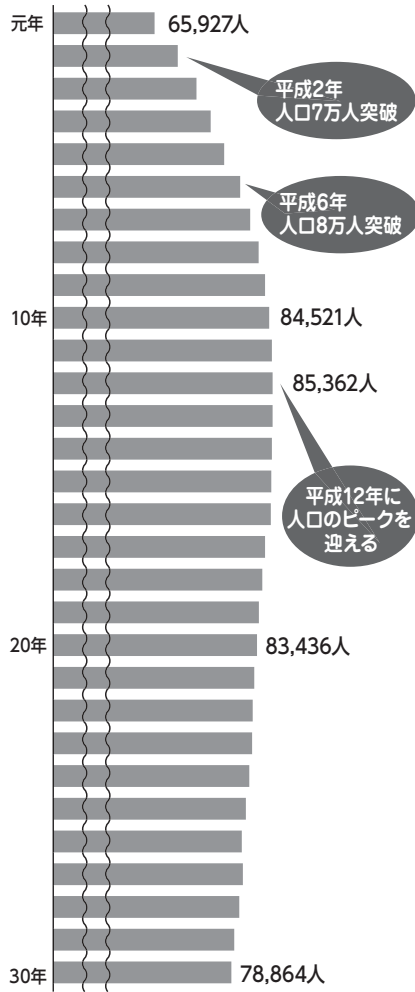
慌ただしい日常では気付かなかったことにも目を向けることができました。

職場では、何でも相談に乗ってくれる上司・同僚がいる。仕事から家に帰ると妻と子が迎えに来ていた。そんな当たり前だと思っていた日常に、改めて感謝することができました。

普段、自分の何気ない一言が相手を傷つけているかもしれませ

ん。どんな時でも相手の気持ちを考え、素直に感謝の気持ちを伝えるように思いました。

### 平成30年間の名張市の人口の推移



※このグラフは、住民基本台帳人口を元に作成しています。記載している人口は10月1日時点の数字です。

### 亀井市長の誕生と、伊賀地区6市町村との合併を問う市民投票

平成14年の名張市長選挙により亀井市長が誕生。平成15年には伊賀地区6市町村との合併の可否を問う市民投票を実施しました。

市は、財政健全化に向けた「市政一新プログラム」の策定(15年)や新しい総合計画「理想郷プラン」(16年)を策定するなど、市の進む方向性を示しました。



### 15の地域づくり組織によるまちづくりが活発化

市は全国に先駆け、住民が自ら考え自ら行うまちづくりを行政が支援する「ゆめづくり地域予算制度」を平成15年度から導入。

15の地域づくり組織がまちの将来像を見据えた地域ビジョンを策定(24年)し、コミュニティバスの運行や有償ボランティアによる生活支援、子育てを応援する子育て広場など、各地域それぞれに特色ある住民自治のまちづくりに取り組んでいます。



### 地域に寄り添う相談窓口「まちの保健室」の開設

まちの保健室は、介護や子育てなどの悩みを抱える地域の皆さんに寄り添う相談窓口として平成17年度から市内15地域で順次開設しました。

介護や子育てのサービスを必要とする人につなぎ、地域の人たちに伴走型の予防的支援をしています。

また、産み育てるにやさしいまち「なばり」を目指した「名張版ネウボラ」の中核を担っています。



三重県知事  
鈴木 英敬

## 1対1 対談 知事と市長の



名張市長  
亀井 利克

### 「2040年を見据えて～地域共生社会の創造～」

テーマ① 広域行政への支援 テーマ② 地域運営組織の発展

日時 1月16日(水) 午前11時～正午

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)



◎申込不要。参加無料。要約筆記・手話通訳・磁気ループあり

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

### 消防出初式・一斉放水を開催

日時 平成31年1月13日(日)  
午前9時～

■ 消防出初式 (午前9時～)

場所 HOS名張アリーナ(夏見)  
内容 通常点検、優良消防団員表彰、幼稚園児による防火演技 など

■ 一斉放水 (午前11時45分～)

場所 名張川左岸鍛冶町橋下流  
内容 消防団車両による虹色の一斉放水

☎ 消防総務室 ☎ 63-5990



### 「わがまちを守る」消防団員を随時募集しています

入団資格 市内在住の18歳以上の人 ※年齢上限なし

主な待遇 ▼年間一定額の報酬、災害や訓練に出勤した場合の手当

▼消防団活動中に負傷した場合の補償制度や福祉共済制度 など

◎詳しくは、消防総務室 ☎ 63-5990まで